



5月の採用薬品（特定個人薬品）

カルチコール注射液 8.5% 10mL
カルシウム補給剤
グラクソ・スミスクライン



【効】低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
 テタニー、テタニー関連症状
 小児脂肪便におけるカルシウム補給

【用】グルコン酸カルシウム水和物として、通常成人0.4～2.0g（本剤4.7～23.5mL＝カルシウムとして1.83～9.17mEq）を8.5w/v%（0.39mEq/mL）液として、1日1回静脈内に緩徐に（カルシウムとして毎分0.68～1.36mEq＝本剤毎分1.7～3.5mL）注射する。ただし、小児脂肪便に用いる場合は、経口投与不能時に限る。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照

5月の採用薬品（院外専用薬品）

ツートラム錠 50mg
慢性疼痛・がん疼痛持続性鎮痛剤
日本臓器製薬



【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛：
 慢性疼痛
 疼痛を伴う各種がん

【用】通常、成人にはトラマドール塩酸塩として1日100～300mgを2回に分けて経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし1回200mg、1日400mgを超えないこととする。

【副】添付文書参照

メーカー変更薬品

セフジニルカプセル100mg「TYK」 → 「JG」
 フェルビナクパップ70mg「オーハラ」 → 「NP」

◆当センター採用の電解質輸液、糖液剤一覧

分類	採用薬	容量		電解質 (mEq/L、P : mmol/L)						ブドウ糖	熱量	PH	
		(mL)		Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻	LA ⁻	P	W/V(%)		kcal/L
開始 (1号) 液	YDソリター T 1号輸液	500		90				70	20		2.6	104	3.5～6.5
維持 (3号) 液	ソルデム 3 A 輸液	200	500	35	20			35	20		4.3	172	5.0～6.5
	フィジオ 3 5 輸液	500		35	20	5	3	28	A20 G5	10	10.0	400	4.7～5.3
細胞外液補充液	ソルラクト輸液	500		130	4	3		110	28				6.0～7.5
	ラクテック G 輸液	500		130	4	3		109	28		S5	200	6.0～8.5
生理食塩液	大塚生食注	50	100	154				154					4.5～8.0
	250	500											
	大塚生食注 2ポート	100											
	テルモ生食	1000											
糖液剤	大塚糖液5% ブドウ糖注 5% PL「フソー」	100	500								5	200	3.5～6.5